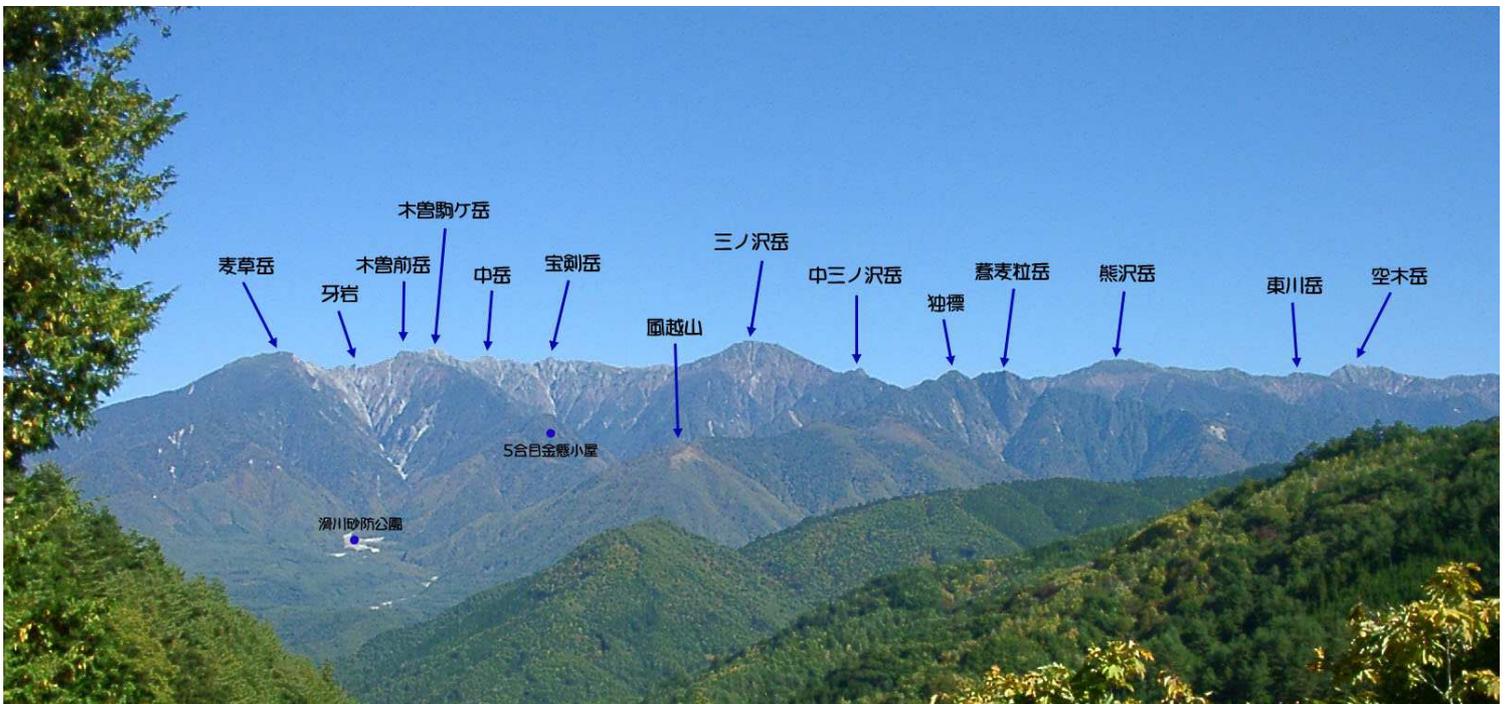


中山道おしながき③

木曾駒ヶ岳、風越山

編集・印刷:上松観光開発有限会社

画像提供:上松町、上松町観光協会



山頂、標高2956m。日本国内最大の花崗岩山脈が、中央アルプス木曾駒ヶ岳です。郡の東部にそびえる「木曾の背骨」で、多くの地域からその雄姿を眺めることができます。

伊那谷では、東の南アルプスと対照して「西駒」の愛称で呼ばれています。早春には様々な雪形が現れ、種蒔きの季節を告げます。

御岳山と同様、古くから信仰の山として親しまれており、山頂には駒ヶ岳神社が建立されています。険しい山頂まで参拝できない方のため、また日々の礼拝のために「里宮」と称される神社も建てられており、上松町では東里地区に社殿があります。上松町における駒ヶ岳神社の例祭は、毎年5月3日。全13座にわたる舞台「太々神楽」が奉納されます。この神楽は氏子の長子にのみ一子相伝で伝えられており、約400年の歴史を重ねてきました。

木曾駒ヶ岳の山並みも木曾八景に数えられており、白く冠雪した山脈に夕陽の残光が映える瞬間、思わず息をのむ美しい姿を眺めることができます。

優美な姿とは裏腹に、地形は大変厳しく、各所で崩壊がみられます。国による砂防ダム建設の防災対策は、国内でも有数のモデル地区ともなっています。



風越山(かごこしやま)は木曾駒ヶ岳の山麓にあり、典型的な里山のひとつです。かつて酪農が盛んだった頃、この山の斜面は麓の牧草地として活用されていました。萌えるように広々した草原は中山道からも良く見え、草原を夏風が吹きわたる姿が木曾八景に数えられています。

現代、酪農家の数は激減し、この地で牧草を刈ることもなくなりました。山肌は雑木に覆われ、かつて草原だった名残は山頂付近のカヤの平らに残るだけです。吉野地区には草刈唄が伝えられ、当時を偲ばせています。しかし近年、かつての姿を取り戻そうという住民活動が盛り上がりつつあります。

風越山の地形は大崩落の痕跡を残しており、麓の小山がかつての山肌だったとされています。この地形はケルンバット・ケルンコルと呼ばれ、この地域には時折調査の学者・学生が訪れます。

(上:上松町西部から撮影した木曾駒ヶ岳の峰々 下:木曾駒の夕照 3月)

木曾駒ヶ岳 見どころ



【木曾駒の夕照】…木曾八景

中山道木曾路の八景の中で、御嶽山に並んで巨大な絶景。夕刻の紅色の陽が、木曾駒ヶ岳の山脈を美しく照らします。夕照は通年ありますが、特に冬季、雪に覆われる時期が好条件。西の空に少々雲が出ていると最高で、日没後も陽光を雲が反射して、より深い色合いを演出してくれます。近年は写真愛好家にもファンが増えています。

一度目にしたら、再び訪れたくなること請け合いの、大自然からのプレゼントです。

(左:夕陽を浴びる三沢岳)



【御嶽山・八海山から臨む、木曾駒ヶ岳山麓】

木曾三名峰の一つ、御嶽山からの眺望は、木曾路を見渡すのに最高のロケーションです。

中山道のルートからはかなり離れてしましますが、自身の足で辿った木曾谷の姿を見渡した時、湧き上がる実感がたまらない思い出となるでしょう。このような俯瞰した地形のダイナミックな立体感も、木曾路の魅力のひとつと言えます。

この位置からは、木曾駒ヶ岳山麓の懐の深さを立体的に楽しむことができます。上松町西部から撮影した写真では、風越山と木曾駒ヶ岳の位置関係は平面的ですが、上の写真では、風越山が集落に近い里山であること、一方で木曾駒ヶ岳が壮大な山脈地帯であることが手に取るように分かります。

御嶽山王滝口は、スキーシーズンを除いて7合目「田ノ原(約2200m)」まで自家用車で登ることができます。

【里宮の例祭 太々神楽】

木曾駒ヶ岳の山頂に本殿を祀る駒ヶ岳神社では、里宮と呼ばれる集落近くの社殿で、毎年5月3日に例祭を開催しています。

祭の呼び物は、全十三座で構成される「太々神楽」の奉納上演。特に真剣を用いた舞台、天狗の面をつけて乱舞する舞台が好評を博し、多くの見物客が訪れています。

この太々神楽は氏子の長兄にのみ一子相伝で伝えられ、里の安全や病氣平癒を願って伝えられてきました。



風越山 見どころ

【ワンデイハイクの里山】

里山として牧草の収穫に用いられていた当時は、青々とした草原が最大の特徴でした。上の写真は、昭和40年代の姿です。

現在、ワンデイハイクとして日帰り登山を楽しむ利用者は多く、平成22年には町の有志によりコース整備と展望台の手入れが行われました。中腹にある展望スポットからは御嶽山が映え、眼下に山里らしい木曾の風景が広がります。

駒ヶ岳神社のある野尻・徳原地区や風越山山麓の吉野・東野地区は、中山道以前の木曾古道によって結ばれていたようです。



…正確な道路地図、各地の伝承などは、上松町総合パンフレット「旅する」を併せてご参照下さい。

上松観光開発有限会社 ねざめホテル：0264-52-2245